

19 雨滝溪谷

あめだきけい

名水所在地／鳥取市国府町雨滝



平成2年12月選定

自然が澄んでいる健康のふるさと

雨滝集落の中を過ぎ溪流にかかる橋を渡って東北の谷に入ってゆく。谷といってもかなり小広く両肩を押しつけられるような感じなどまったくしない。つま先上がりには蛇行したその道は、山田の中にしばらく続いて滝正面の高台で終わる。鳥取から雨滝まで20km、それから滝まで2kmである。

高台から溪流の走る谷底において行くと滝冷えとでもいうのだろうか、にわかに空気の冷たさが感じられてくる。

トチ、ケヤキ、ブナなどの原生林がささやかくように息づき、木々のみどりの、その樹液が体じゅうをめぐる。階段道を下りると、高さ40m、幅3mに余る大きな飛瀑が目の前にひらける。

河合谷(かわいだに)高原の水を集めて、原生林におおわれた玄武岩の断崖絶壁を大

音響を発して一気に落ちる様は神秘的であり、壮絶と言うしかない。じっと見つめると思わず滝に吸い込まれそうになり、自分の体が滝に溶け合い一緒になって流れ落ちる感覚になる。そんなスリリングな衝撃、又、身も心も清浄になるような感覚はある種の「みそぎ」といっていいかもしれない。

かつては修験道の霊場として広く知られ、白衣の行者たちがこの滝に打たれて行に励んでいたが、現在は、それに変わって自家用車を連ねて家族で涼を楽しむ行楽の人並が絶えない。

毎年初夏の一日を選んで国府町をあげての盛大な滝開きには、傘踊りが披露される。

この雨滝は、平成2年に「日本の滝百選」にも指定された。

アクセス

- JR山陰本線「鳥取駅」下車→バス45分「雨滝バス停」下車→徒歩2km
- 駐車場あり

問い合わせ

鳥取市 生活環境課

郵便番号:680-8571

住所:鳥取市尚徳町116番地

電話番号:0857-20-3216





昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市河原町北村

滝と岩と淵の芸術 三滝溪

一級河川千代川の支流曳田川の上流に位置する三滝溪は、昭和31年2月に県指定の名勝地に指定され、県下でも屈指の秘境として知られている。

巨岩、奇岩等変化に富んでおり、数々の滝もある。絶壁と奇岩の間を流れる美しい溪流である。また、谷間には美しいシャクナゲの群生なども見られる。このように自然のおりなす景観は、水墨画を思わせる素晴らしさがある。

中でも、長さ約41m、幅約2mの赤い色のつり橋「三滝つり橋」から眺める千丈滝は、三滝溪のうちでも最も大きな滝であり、その飛瀑は雄大であり絶景である。

近くにはバンガロー・コテージ・休養施設(宿泊可)、バーベキューハウスなども整備され、新緑から紅葉まで家族そろって渓谷美を楽しむことができる。

アクセス

- JR山陰本線「鳥取駅」下車→バス50分
「北村バス停」下車→徒歩7km

問い合わせ

鳥取市 生活環境課

郵便番号:680-8571

住 所:鳥取市尚徳町116番地

電話番号:0857-20-3216



21 諸鹿溪谷

もろがけいこく

名水所在地／八頭郡若桜町諸鹿



平成2年12月選定

豊かな自然、清らかな清流

若桜町の北端、扇ノ山の中腹に広がり、標高900m前後の広留野高原周辺部に位置する諸鹿溪谷は、若桜宿から約8km離れた諸鹿集落から奥に、溶岩流で出来た岩や諸鹿七滝と称される滝々の奇観が約10kmにわたって続いている。

川の兩岸一帯には、ブナやトチやクヌギの原生林が広がっていて、ところどころには豪壮な断崖が切り立ち、その景観はすばらしく、避暑や紅葉狩りなど多数の人々に親しまれている溪谷である。

諸鹿七滝と称される滝々の中でも、大鹿滝・出合滝・雲龍滝は、よく知られており、勢いよく岩肌を流れ落ちる滝の音、飛び散る水沫は美しい大自然を満喫させている。

※(尚、諸鹿七滝へのルートは、公共交通機関はなく、広留野高原方面(八頭町富枝「ふるの森・扇の山登山口方面」)からしか行くことはできません。)

また、昭和56年には、『21世紀に残したい日本の自然百選』に選ばれていて、その周辺には、自然散策できる『中国自然歩道』がある。

アクセス

- 若桜鉄道「若桜駅」から車で約20分
- 駐車場あり

問い合わせ

若桜町 産業観光課、町土整備課
郵便番号: 680-0792
住所: 八頭郡若桜町若桜801-5
電話番号: 0858-82-2238, 2236





昭和60年6月選定

名水所在地／八頭郡智頭町芦津

美味しい自然見つけた！

芦津溪は鳥取県の南東部に位置し、東を若桜町に隣接して、氷ノ山・後山・那岐山を結ぶ連峰の国定公園内にあり、その溪流の本流は、日本海に伸びる千代川に注いでいる。

鳥取県と岡山県を結ぶJR因美線智頭駅からバスで30分、山間にある倉谷で下車、さらに徒歩で30分ほどすると、芦津自然保護林の中を流れる水量豊かな溪流が見えてくる。

下流には三滝という滝があり、その滝壺には昔から大蛇が住むといわれ、紺碧の水を湛えている。溪谷には森林セラ

ピーコースがあり、春は新緑、秋になれば原生林の紅葉が全山を覆い、見わたすかぎりの山々、澄んだ水と空気、豊かな自然とのふれあいを満喫でき、心身ともにリフレッシュさせてくれる。

夏の溪流では、新たな体験メニューとしてシャワークライミングが人気を呼んでいる。地元住民をはじめ県内外からの観光客の憩いの場として人気だ。

ひんやりと冷たい水は、すべて山や木が濾過してできたもの。自然の恩恵を感じ、智頭町民が大事にしている水である。

アクセス

- JR因美線「智頭駅」下車→バス30分「倉谷バス停」下車→徒歩30分
- 駐車場なし

問い合わせ

智頭町 企画課

郵便番号：689-1402

住所：八頭郡智頭町智頭2072番地1

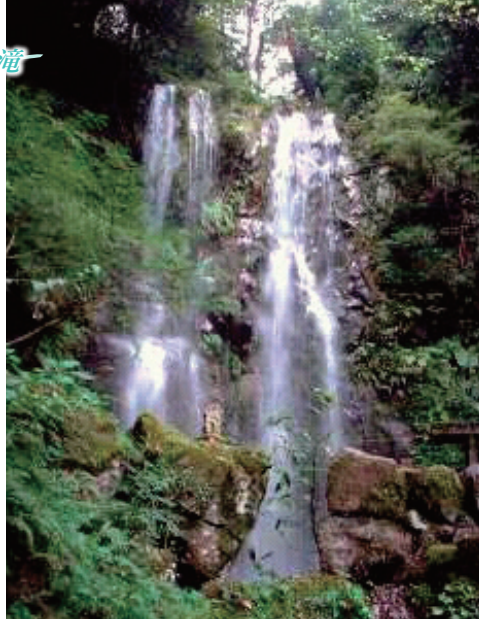
電話番号：0858-75-4112



23 不動谷川流域

ふどうだにがわりゆづいき

名水所在地／鳥取市青谷町田原谷



平成2年12月選定

滝の音がこだまする信仰と憩いの清流

山陰海岸ジオパークに認定され、西因幡県立自然公園の中にある不動山は、古くから山陰の霊場として知られている。

言い伝えによると、江戸時代の中頃この地を訪れた三光院正蔵坊が、五色の光を放ち雲がたなびく様子を見て霊域であると感じ、ここに不動明王を勧請したのが始まりと言われている。以来、真言宗醍醐派御滝山大善院の奥の院として人々の信仰をあつめてきた。

不動谷川流域は、この奥の院周辺の趣を異にした三つの滝を有する溪流で、信仰と憩いの場として親しまれてきた。

一の滝不動滝は、奥の院のかたわらにあり、修業の場ともなっていて、信者たちが滝に打たれる姿も見られる。樹齢数百年のスギやケヤキの大木に日差しを遮られ、修験場の霊域にふさわしく、深山幽谷の趣の中で滝音を響かせている。

二の滝湯原滝は、20mの高さから一気に

水しぶきをあげながら落下する男性的な滝で、付近には休憩所や広場もあり、滝から吹く風に涼をとりながら一息のくつろぎの場ともなる。

一番奥の三の滝妙円滝は、20mの急な岩の斜面をさらさらと糸を引くように流れる、柔和で女性的な滝である。

これらの三つの滝は、四季の移ろいを気軽に楽しめる絶好の散歩コースである。

修験場開山に由来する毎月第一日曜日の縁日には参拝客が後を絶たず、特に7月の「柴灯護摩」、6月と8月の「湯三昧」が催される縁日には、普段は静かな谷間のこの地も、不動明王のご利益にあずかろうとする人々が県内外から大勢訪れ、大変賑わう。

また、奥の院の前を流れる不動谷川は、河川改修により気軽に遊べる水辺と広場ができ、親子や小グループでも安心して楽しめるようになった。

アクセス

- JR山陰本線「青谷駅」下車→バス10分「不動山入口バス停」下車

問い合わせ

鳥取市 生活環境課

郵便番号: 680-8571

住所: 鳥取市尚徳町116番地

電話番号: 0857-20-3216





昭和60年6月選定 名水所在地／東伯郡三朝町大字神倉・中津

名勝地「小鹿溪」

三朝町は約9割を山林で占め、幾つかの谷沿いに集落が点在している。その中の一つ小鹿川の上流に「小鹿溪」がある。

昭和30年代に道の拡幅が行われ車が通れるようになるまで、町内でも秘境の地であった。昭和12年に国の名勝に指定され、特に紅葉時期には、多くの観光客の目を楽しませている。

小鹿溪は水と岩と自然林の調和が特に素晴らしく、滝や淵が交互に分布し、春の新緑、秋の紅葉と素晴らしい風景

を見せる。渓谷内にはアカガシ、ヤマグルマ、ホンシャクナゲなどの常緑広葉樹やイヌブナ、トチノキ、サワグルミ、ハウノキなどの落葉広葉樹の中に「雄淵」「雌淵」「弥六淵」の三淵が景勝の中心で、透き通った水はエメラルドグリーンに染まる。

昭和63年には、探勝遊歩道整備事業により階段橋を含め延長約1.0kmを整備し、水辺まで散策することができるようになった。

アクセス

- JR山陰本線「倉吉駅」下車→路線バス「神倉」行に乗りし、「神倉バス停」下車→徒歩17分
- 三朝温泉から中津方面へ車で約20分
- 駐車場あり(10台駐車可)

問い合わせ

三朝町 教育委員会教育総務課

郵便番号:682-0195

住所:東伯郡三朝町大瀬999-2

電話番号:0858-43-1111(代)



25 石霞溪

せつかけい



昭和60年6月選定

名水所在地／日野郡日南町生山地内

奥日野県立自然公園の景勝地

日南町生山にある石霞溪は、日野川とその支流の石見川、印賀川の両岸に広がる南北12kmにわたる一大渓谷の総称で、昭和8年2月に文部省から指定された景勝地。日野川と合流する石見川の溪流地帯を指す「南石霞溪」は、断崖が迫り、巨石等が散在することから男性的なイメージを、対する印賀川両岸の溪流地帯を指す「北石霞溪」は、穏やかな流れで、淵や浅瀬が多いところから女性的なイメージを抱かせる。

南石霞溪には、お虎という妻女が夫

と2人、夜漁に出て岩と思って乗ったらそれが深い淵になったという伝説を持つ「お虎淵」、高さ15m幅15mの獅子岩をはじめとする多くの巨岩の他、瓢箪（ひさごびらき）、天狗岩などと名づけられた怪石も多く存在する。さらに、一帯には自生の松が多く、そびえ立つ巨岩との対比はまるで日本画のように、春は桜につつじ、初夏は新緑と藤、秋は紅葉、冬には雪景色と、四季折々の姿が遊客の目を楽しませてくれる。

アクセス

- JR伯備線「生山駅」下車、町営バス石見線「日南病院前」下車、徒歩5分
- 主要地方道新見日南線及び国道180号の石見川、日野川、印賀川沿い
- 駐車場あり（約10台駐車可）

問い合わせ

日南町 住民課

郵便番号：689-5292

住所：日野郡日南町霞800番地

電話番号：0859-82-1111



[http:// www.town.nichinan.tottori.jp/](http://www.town.nichinan.tottori.jp/)



平成25年8月選定

名水所在地／鳥取市用瀬町赤波

洗足山に広がる多種多様なおう穴と湧水

赤波川は、智頭町市ノ瀬に源を発し、用瀬町鷹狩で千代川に注ぐ流長15.3kmの一級河川である。この赤波川の中流域にある大村発電所取水口から下流に向かって約1.2kmの区域に花崗岩が分布し、多数のおう穴(水の流れによって回転する礫の研磨作用を受けて出来た丸みを帯びたくぼみ)が観察できる美しい渓谷になっている。おう穴は、比較的小型のものが多く、その種類は、滝壺型・溝穴型・瓶穴型・釜穴型・淵型・複合型など豊富である。

また、渓谷沿いには、年中絶えることなく流れ出ている洗足山の湧水で、マタタビの薬効があるといわれている延命水(和多里世箭子の水)がある。この自然環境を守るため、用瀬町大村地区の住民で組織する「大村地区まちづくり協議会」(おう穴愛護会)が、おう穴周辺の環境保全・清掃活動に取り組んでいる。

26 赤波川 渓谷 おう穴 群

あがなみがわけいこくおうけつぐん

アクセス

- JR鷹狩駅から車で10分
- 用瀬ICから車で15分
- 駐車場なし

問い合わせ

鳥取市 生活環境課

郵便番号: 680-8571

住 所: 鳥取市尚徳町116番地

電話番号: 0857-20-3216



名水所在地／日野郡日南町菅沢地内



平成25年8月選定

このはなさくや ひめ

木花咲耶姫縁の神話の滝

県道48号線沿いにある案内看板から、秋原川に沿って延びる遊歩道を約1 km歩いたところに、まるで行く手を阻むように、清らかで美しい滝が現れる。落差約10m、大きな滝壺に、四角い岩を重ねたような2段滝、人の手を介さずに作り出された自然のありのままの姿は、見る人に安らぎを与えてくれる。これが聖滝である。

当地には、遥か古の世のこと、磐長姫（いわながひめ）と木花咲耶姫（このはなさくやひめ）という美しいご姉妹が、青垣山

の原（今の呼子高原）でお暮らしになっており、やがて、倭国の国王で、天照大神の孫、瓊々杵命（ににぎのみこと）にみそめられた妹の木花咲耶姫の結婚の儀が、この滝の前で執り行われたとの言い伝えが残されている。

以来、人々はこの滝を聖なる滝、聖滝と呼び、霊験あらたかな滝として崇めてきたのである。人が入ってくるのを拒むように覆い立つ杉林、神話に彩られる聖なる滝へ続く深い森からも、どこか神秘的な雰囲気が漂ってくる。

アクセス

- 国道180号線沿いの菅沢神社下の「ちびっこ広場」のある三叉路から県道48号線へ。約800m進むと、聖滝の看板とともに駐車場が見えてくる。車を止めて、案内に従い、秋原川沿いの遊歩道を徒歩で15分。
- 駐車場あり（5～6台駐車可）

問い合わせ

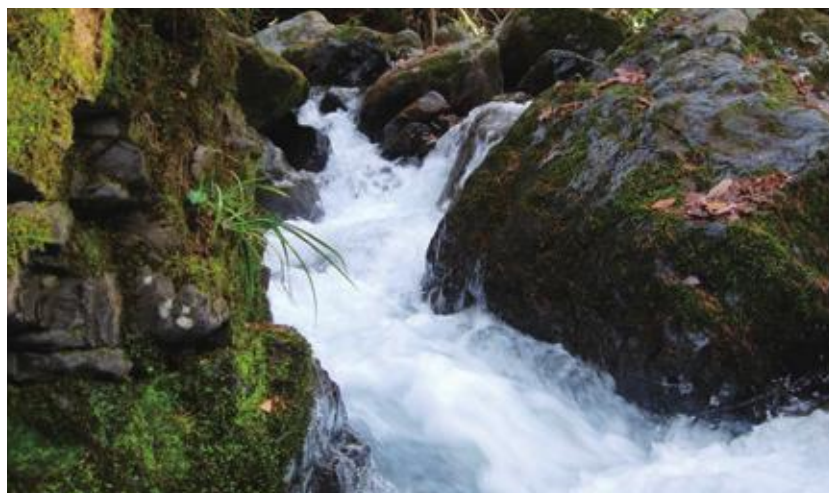
日南町 住民課

郵便番号：689-5292

住所：日野郡日南町霞800番地

電話番号：0859-82-1111





平成25年8月選定

名水所在地／日野郡日南町新屋地内

県西部を潤す自然の恵み 日野川

鳥取県西部を潤す一級河川で、広島、島根に境を接する三国山を端とする全長約77kmの鳥取県内最長の日野川。その源流域は、暖温帯落葉広葉樹林に属し、主な広葉樹は、ナラ、ブナ、クリ、トチ、ホウ、アベマキ、シデ、キワダなどで、低地の水辺では、サワグルミ、ハコヤナギ、高地では、ナナカマド、カンバなどを見ることができる。また、国の特別天然記念物のオオサンショウウオの生息地としても知られている。

こんな源流域の自然環境を守ろうと活動を続ける「日南の水を守る会」や「多里オ

オサンショウウオを守る会」、そして、源流域か河口に至るまでの自然環境を守り、次の世代に美しい日野川を引き継いでいこうと活動を続ける「日野川の源流と流域を守る会」。日野川の源流の水、その恵みは、源流域だけに留まらず、遠く日本海の豊かな源泉ともなり、多くの人に愛され、守られている。

なお、日野川の源流域には、「日野川の源流と流域を守る会」が、第13回日本水大賞厚生労働大臣賞の受賞を記念して建立した「日野川源流の碑」があるが、碑を目指しての散策は、ある程度の装備が必要。

アクセス

- 国道183号から新屋(にいや)の新山(しんやま)地内へ。窓山林道に入り、にちなん環境林管理事務所から土屋(つちや)別れへ(ここまで3.5km)、土屋別れから車両進入禁止域へ(ここまで1.6km)。ここからは徒歩で、日野川源流の碑まで1.5km。
- 駐車場あり(5～6台駐車可)

問い合わせ

日南町 住民課

郵便番号: 689-5292

住所: 日野郡日南町霞800番地

電話番号: 0859-82-1111

